

# 健康な苗を育てるために



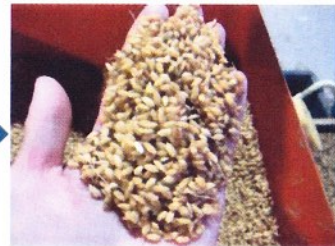
種籾は、60℃お湯に10分  
ひたして消毒します。  
薬を使わない最も効果のある  
消毒方法です。  
病気になるない健康な苗への  
第1歩です。



消毒が終わった種籾は  
水に1週間ほどひたして  
発芽の準備です。



苗箱に土を詰めます。  
表面を平らにして種を  
均一にまけるようにします。  
土の厚みも大事なポイント  
です。



発芽したらよいよ種まきです。



箱1枚に対しての種籾の量、  
水の量、そして最後にかける  
土の量など注意しながらまいて  
いきます。



種まき後はハウスでの管理になります。  
温度の管理と水管理が非常に重要です。



健康に育った苗。  
根もしっかりし、色も美しい緑色です。  
健康な苗が、健康な稲と良いお米を作る  
ための第一条件となります。

## 組合員の作業風景

今月は組合長の**大野さん**と、精米担当の**田丸さん**  
にスポットを当ててみました。  
2人とも、平日は組合事務所で仕事をしているため  
休日や仕事の合間での作業ということで非常に効率  
よく作業をしていました。  
もちろん忙しさの中でも、全力投球です。



大野さん



この日は肥料の散布を行っていました。  
大野さんがトラクターで肥料を散布して  
田丸さんが肥料の準備です。  
田んぼ全体に、均一になるように散布  
していきます。

そして、休日には苗箱に土を  
詰めたりハウスの準備をしたり  
、まさに毎日が米作りと向きあ  
う日々です。  
美味しいお米はこういった日々の  
努力の賜物です。



田丸さん

# あぜ道だより

4月号